

## 環境省福島環境再生事務所向け 飯舘村小宮地区対策地域内廃棄物処理施設（減容化处理）を竣工

当社が株式会社神戸製鋼所とともに2013年11月に環境省福島環境再生事務所から受注しました「飯舘村小宮地区対策地域内廃棄物処理業務（減容化处理）」は、仮設焼却施設が竣工し、2014年11月より運営業務を開始しました。

当施設は、東日本大震災および原子力発電所事故の影響により避難されている飯舘村民の方々の帰還準備に伴い発生する「片づけごみ」を処理するために設置されました。

なお、福島県の対策地域内廃棄物の処理業務における第1号案件となっています。

### 概要

- ・業務受託者：神鋼環境・神戸製鋼共同企業体
- ・焼却炉形式：流動床式焼却炉
- ・処理能力：5t/d（5t/8h×1炉）
- ・運転方式：間欠運転式
- ・処理対象物：片づけごみ  
※各家庭から発生する屋内の可燃性廃棄物  
（畳・家具・布団・衣類等）



写真1 飯舘村小宮地区仮設焼却施設 全景

**【施設特長】**

1. 間欠運転に適し、安全かつ安定処理を実現する流動床式焼却炉を採用
  - ・流動床式焼却炉は機械的な可動部のない密閉構造であり、粉じん、ガス等の漏出リスクが小さく、高い安全性を有します。
  - ・炉内に熱容量の大きい砂を有しており、高温の流動砂の中でごみを連続的に燃焼します。このため、炉内滞留ごみがわずかであり、停電等の非常時にも瞬時に燃焼が完結し、安全に設備停止することができます。
  - ・流動砂の保有熱量により設備立上げが短時間であり、立下げ運転も容易であるため、間欠運転式に適しています。

2. 排ガス中の放射性物質を確実に除去する2段式バグフィルタを採用
  - ・減温塔にて排ガスを200℃以下に急冷し、排ガス中のばいじんをバグフィルタにて確実に除去します。
  - ・セーフティーネットとして2段目のバグフィルタを設置し、万が一ろ布が破損した場合も、2段目のバグフィルタにて確実にばいじんを除去します。
3. 負圧を維持することで、外部への放射性物質の漏えいを確実に防止
  - ・作業上、粉じん発生の可能性のある受入供給設備、灰搬出工程をテント構造の屋内に収納し、負圧を維持します。
  - ・補助誘引送風機により停電時や夜間等運転停止時も炉内の負圧を維持します。

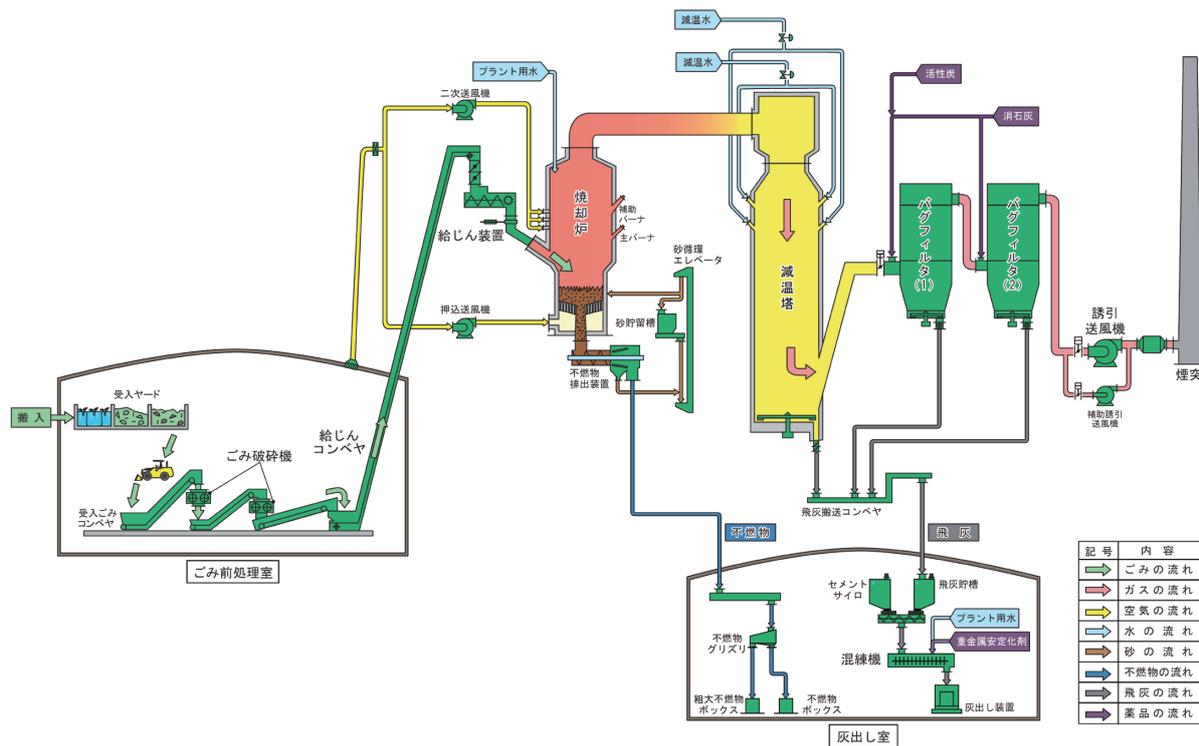


図1 仮設焼却施設 全体フロー